

ぐん と ひろ しま 軍都だった広島

ぐん じ と し へい わ いの まち
軍事都市から平和を祈る街へ



どく じま れきし おおく の しま ほつこく わらかみはついち
「毒ガス島の歴史(大久野島)」(発行/村上初一さん)より



だ 卷 渦 の 激 感 も 海 も 陸

こ じん ぞう
個人蔵



やす の はつでんしょ やす の ちゆうこくじんじゅうなん の ひ
安野発電所と安野中国人受難之碑



こ じん ぞう
個人蔵



ひろしまじょう
広島城蔵

2021年4月～2022年3月
2021年度ヒロシマ平和カレンダー

広島平和教育研究所 編集／広島県教育用品株式会社 発行・発売 広島市東区光町2丁目8番32号（エコード広島内） tel.082-264-1750 fax.082-264-3328



うじながいごんどお ぐんようさんばし ふねのば へいし たいしやうじだい お しょうわじだい はじ しゃしん う こじんぞう
宇品海岸通りを軍用棧橋（船の乗り場）に向かう兵士たち（大正時代の終わり～昭和時代の始め）写真：絵はがき／個人蔵



につしんせんそう ころ ひろしま し
日清戦争の頃の広島市

うじなこう 宇品港

ぐんと げんかんぐち せいび ①軍都の玄関口の整備

めいじ じだい ひろしま と し さか
明治時代、広島は都市として栄えていきます。
とうじ ひろしまわん し ない なが おお た がわ はこ どの
当時の広島湾は、市内を流れる太田川が運ぶ土
しゃ たま とおあさ うみ おおがた ふね とお
砂が溜った遠浅の海で、大型の船が通れず、より
きんだいてき みなと もと
近代的な港が求められていました。

せん だ さだあき けんれい いま けん ち じ しゅうにん
千田貞暁が県令（今の県知事）に就任し、
ねん うじなこうちくこう かんたく ちゃくしゅ なん どの
1884年宇品港築港と干拓に着手します。何度も
さいがい
災害にあい、そのたびに計画を変えなくてはなら
ず、予算が膨れ上がる難工事でした。

ひろしまわん のり かき ようしょく
また広島湾では海苔や牡蠣、あさりの養殖が
さか 盛んだったので「漁場が失われる」と漁民の猛
はんたい
反対がありました。漁業をあきらめて港の工事
の仕事に就く人、また、新しい仕事を求めてハ
ワイへ移民する人もいました。

さまざまな話し合いのもと工事は進み、1889
ねん ねん げつ うじなこう かんせい
年、5年5か月をかけて、ようやく宇品港は完成
しました。

かんせい とうじ つか うじなこう
完成した当時はあまり使われなかった宇品港
ですが、およそ5年後に起こる日清戦争をきっ
かけに、軍隊のための重要な港として、ここから
ぞくぞく へいたい せんじょう しゅつぱつ
続々と兵隊が戦場へ出発していくことになります。



だ 卷 渦 の 激 感 も 海 も 陸

宇品港から満州へ向けて出兵する兵士と見送る人々（1932年）写真：「支那事変臨時派遣軍記念写真帳」（1932年・中国新聞社発行）より／個人蔵



軍用棧橋の跡が今も残されています。
ここから多くの兵隊が戦場へ向かっていきました。（宇品波止場公園）

宇品港

②日清戦争をきっかけに

明治政府は、大国である清（現在の中国）や、南へ領土を広げようとする、当時のロシア帝国に対抗するため、朝鮮半島に注目していました。

その朝鮮半島をめぐって、1894年8月、日本と清との間で日清戦争が始まると、宇品港は戦場へ行く軍隊のための港として使われるようになります。

第五師団という大きな軍隊が置かれていたこと、日本各地を結ぶ鉄道の西の端が当時は広島駅だったこと、そして宇品港という大きな港があったことで、広島は朝鮮半島や中国大陆などの戦場へ兵隊や戦争に必要な物を運ぶのに、とても都合の良い場所だったのです。

同じく8月には広島駅と宇品港とを結ぶ鉄道「宇品線」が開通し、多くの兵隊と物資を港の船まで送り届けました。

この日清戦争をきっかけに、その後の日露戦争(1904年－1905年)から太平洋戦争の終わり(1945年)にかけて、広島は戦争のための重要な都市「軍都」としての道を歩んでいくことになります。



旧大本営
広島鎮台司令部として1877年に建てられた木造の洋館。広島城天守閣の屋根が見えます。
1915年に史跡として永久保存されることになりましたが、原爆で倒壊しました。
写真：絵はがき「日清戦役記念大本営」1935年頃
広島城蔵



旧大本営跡
今でも正面玄関の階段など、土台の部分だけが遺跡として残されています。
写真：広島城提供

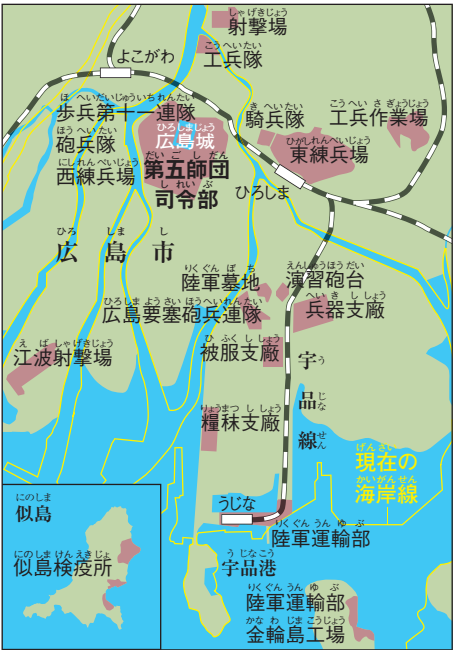
広島城

①大本営が置かれ、臨時の首都の役割を担った広島

広島は、江戸時代すでに日本有数の都市となっていました。明治時代になると軍隊にとって重要な街となり、1873年、広島鎮台(陸軍の部隊)が全国6つのうちのひとつとして、広島城の中に作られました。1888年には大日本帝国陸軍第五師団という部隊になりました。

1894年、日清戦争のときには、軍隊全体に命令を出す「大本営」が1年半の間、東京から広島へ移りました。明治天皇も広島入りをし、9月15日から翌年5月30日まで、広島城の中にある大本営で戦争を指揮しました。また、10月には広島で第7回帝国議会が開かれ、日清戦争の軍事予算などが決められました。

国の立法、行政、軍部の最高機関が集結した広島は、短い期間ではありましたが、臨時の首都としての役割を果たしました。



1930年頃の広島市
広島城内の第五師団を始め、多くの軍隊の施設があります。([新修広島市史第2巻]をもとに作成、一部加筆)

ひろしまじょう 広島城

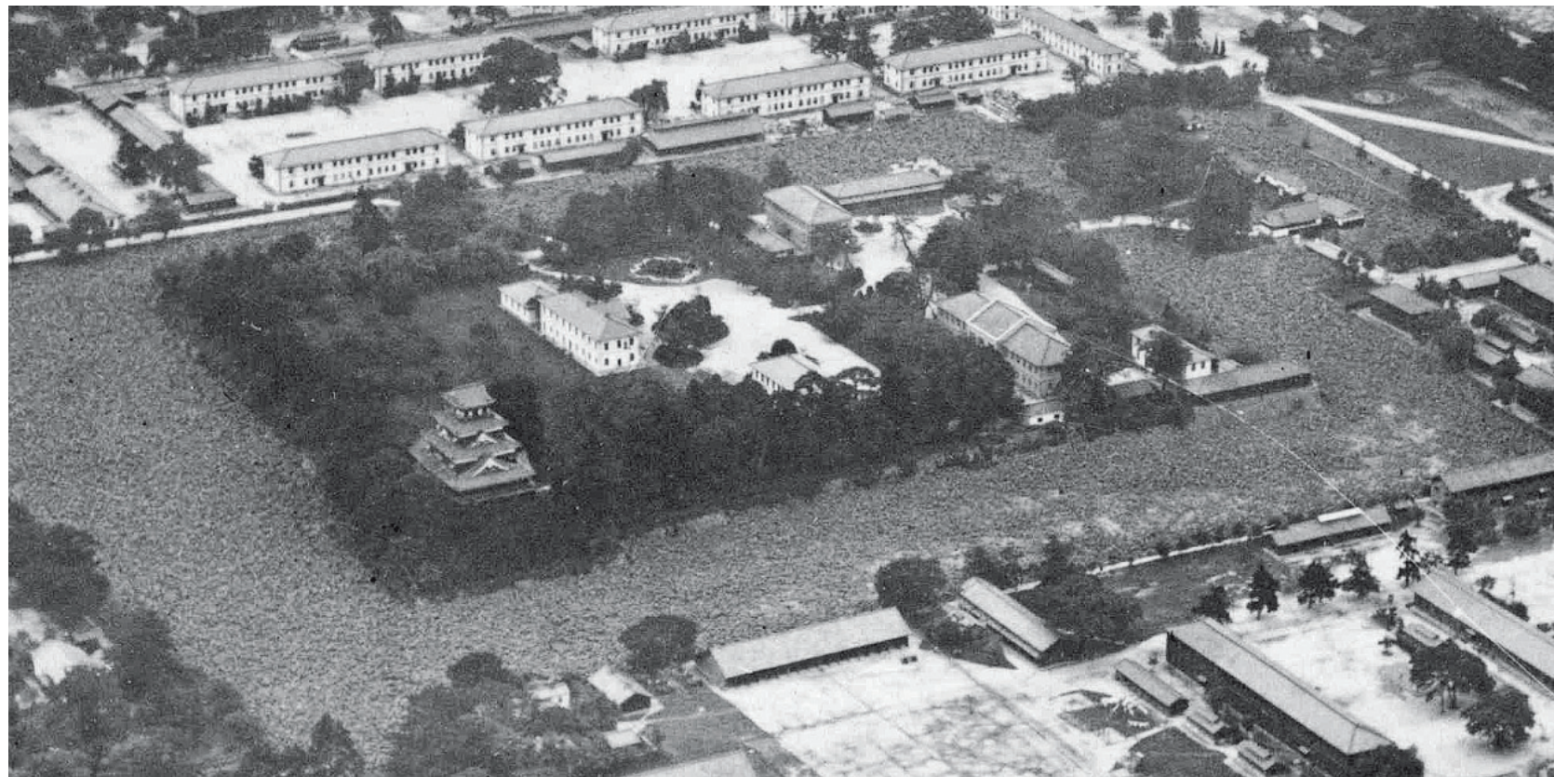
②「広島全滅」第一報は14歳の女学生

1945年、広島城とその周りには多くの軍事施設が建てられていました。

8月6日の朝、広島城の中にあった中国軍管区司令部では、多くの軍人に混じって、学徒動員された比治山高等女学校の女学生たちが働いていました。学校で勉強するよりも、戦争に勝つための手伝いをするほうが大事なことだとされていたのです。

8時15分、原爆が投下され、司令部の外にいた70名近くの女学生と先生が亡くなりましたが、半分地下に建てられた防空作戦室にいた岡ヨシエさんと荒木克子さん（二人とも当時14歳）は助かりました。二人は軍事専用電話を使って、福岡と福山の司令部に「広島が全滅しました。」と伝えました。原爆で破壊された広島のように広島市外に伝えられたのは、これが最初だと言われています。

広島城の天守閣は原爆の爆風で倒壊しましたが、1958年再建されました。



被爆前の広島城 本丸を北西の空から撮影。画面手前は野砲兵第五連隊、奥は歩兵第十一連隊の建物。(昭和初期) 写真:広島城蔵



被爆前の天守閣と砲兵隊 (明治時代の終わり～大正時代の始め) 写真:個人蔵



司令部1号庁舎前から行進する歩兵部隊 (1904年) 写真:広島城蔵

おおくのしま

大久野島

①地図から消された島

広島県竹原市の沖、瀬戸内海に浮かぶ大久野島。かつて、この島では、国際法で使用が禁止されていた毒ガスが、大日本帝国陸軍によって秘密に製造されていました。島のいたるところに、毒ガスを作ったり保管したりする施設が建ち並び、島全体が毒ガス工場でした。この島に来た人は、毒ガスのせいで健康を奪われたり、亡くなったりしました。

毒ガス作りの秘密を守るために、大久野島は地図から消され、ここで働く人たちは、島でのことは誰にも話さないよう命令されました。また、島の近くを通る客船や、島の対岸を通る呉線の列車では、窓にカーテンをひいたり、よろい戸（窓の日よけ）を下ろし、島のようすを見させないようにしていました。

戦争に苦しめられた島ですが、今は平和学習の島として、多くの子どもやおとなたちが訪れています。

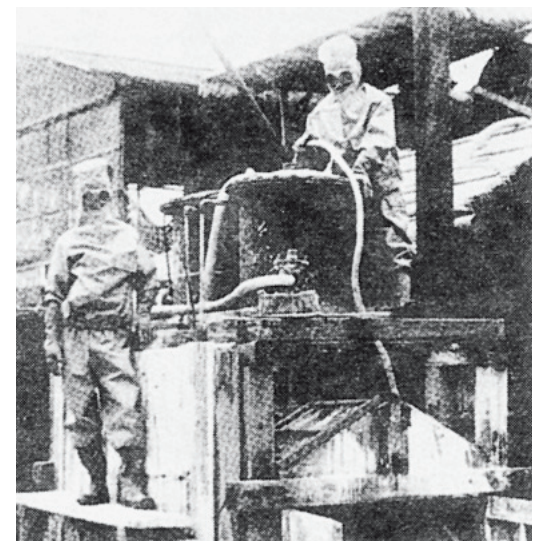


三軒家の工場地帯（1946年撮影）
毒ガス工場ができる前は、水田が広がり農家がありました。戦後、利用された建物もありましたが、ほとんどが取り壊され、現在は「休暇村大久野島」本館が建っています。¹⁾



大久野島の毒ガスについては「毒ガス資料館」で詳しく学ぶことができます。

戦後の毒ガス処理作業員²⁾



戦後の毒ガス処理のようす³⁾

写真出典 1) 2) 3) :「毒ガス島の歴史(大久野島)」(発行／村上初一さん)より



れんごうぐん せんごしより きぎょう なんにち も つつ どく かんぜん け
連合軍による戦後処理作業。何日も燃やし続けても毒を完全に消すことはできませんでした。1)

おおくのしま 大久野島

②どく いま くる ひとびと 毒ガスで今も苦しむ人々

こうじょう はたら ひと どく こうじょう おし しま
工場で働く人たちは、毒ガス工場だということを教えられませんでした。島
じょうりく にお びょうき し ひと
に上陸すると、いやな臭いがし、病気になったり、死んだりする人もいました。

ねん ねん
1929年から1944年までに6,616トンのさまざまな毒ガスが作られ、そのうち約
3,400トンが島の外に運び出され、各地に送られて行きました。主には中国に運ば
れ、せんとう じんたいじっけん つか おお ひと いのち うば い のこ ひと おお
戦闘や人体実験に使われ、多くの人の命を奪いました。生き残った人も、多
くがこういしょう ごなんねん くる
くが後遺症でその後何年も苦しんでいます。

ちゅうごく にほん ぐんたい す かえ どく だん いま つち なか いけ かわぞこ
中国では、日本の軍隊が捨て帰った毒ガス弾などが、今でも土の中や池、川底
などに埋まっていることがあり、せんそう お ねん い じょう た
戦争が終わって75年以上経っても、このような
い き どく じ こ ひ が い う ひと
「遺棄毒ガス」による事故によって被害を受ける人がいます。

にほん せんそうちゅう どく こうじょう はたら ひと せん ご どく しより
また、日本でも戦争中に毒ガス工場で働いた人や、戦後、毒ガスの処理をした
ひと なか いま こういしょう くる ひと
人の中には、今も後遺症で苦しんでいる人がいます。

む さ べつ おお ひと ころ きず なんじゅうねん あいだくる つづ ひとびと
無差別に多くの人を殺し傷つけ、何十年の間苦しみ続ける人々がいるということ
では、げん し ばくだん どく へい き に ど つか
原子爆弾も毒ガスもむごい兵器であり、二度と使ってはなりません。

ねん か がくへい き きん し
※1997年に化学兵器禁止
じょうやく むす どく
条約が結ばれ、毒ガス
せ かいじゅう くに
は世界中のどの国にお
いても、つく つか
りしてはいけないこと
になりました。



せんご れんごうぐん どくぶつ うんぱん きぎょう
戦後の連合軍による毒物の運搬作業 2)

しゃしんしゅてん 1) 2) :「毒ガス島の歴史(大久野島)」(発行/村上初一さん)より



せきもんしゅうようしょ にほん む しゅうばつ ちゅうごくじん ねん しゅうてん うえば おさむちよ ちゅうごくじんきようせいれんこう きせき
石門収容所から日本へ向けて出発する中国人たち（1944年）。出典：上羽 修 著『中国人強制連行の軌跡』



やすの はつでんしょ きこうしき ちゅうおう み はしら ぐんじゅうめいれい か せいふ
安野発電所の起工式。中央に見える柱には「軍需省命令」と書かれており、政府の
めいれい はつでんしょ た ねん
命令で発電所が建てられたことがわかります。（1943年）
しゃしんていよう ひろしまやすの ちゅうごくじん ひがいに ついでに れきし じじつ けいしやう
写真提供：広島安野・中国人被害者を追悼し歴史事実を継承する会



国土地理院デジタル標高地形図 (https://www.gsi.go.jp/common/000215515.jpg) をもとに加工

やすの はつでんしょ 安野発電所

① ぎようせいれんこう でんりよくきようきゅう か こく ろうどう 強制連行と電力供給のための過酷な労働

だいに じ せ かいたいせんちゅう にほんこくない はたら て へい
第二次世界大戦中、日本国内では働き手が兵
たい せんじょう か だ はたら ひと
隊として戦場へ駆り出されていたので、働く人
た
が足りなくなっていました。そこで政府と企業
ちゅうごくじん にほん つ はたら
は中国人を日本に連れてきて働かせようと考
え、ぜんこく しょ やく まんにん ちゅうごくじん どういん
全国135か所に約4万人の中国人が動員され
ました。そのほとんどが、むりやり連れてこら
れたといわれています。

ねん がつ ひろしまけんやまがたぐんやすの むらつぼ の いま
1944年8月、広島県山県郡安野村坪野（今の
あ き おお た ちゅうつぼ の やすの はつでんしょけんせつこう じ
安芸太田町坪野）の安野発電所建設工事には、
ちゅうごく さんとうしやう チンタオ にん きようせいれんこう
中国の山東省や青島から360人が強制連行され
ました。「軍都広島」へ電力を供給するため
ぐん と ひろしま でんりよく きようきゅう
の水力発電所や導水トンネル工事で働かせるた
めでした。きび きけん さぎょう しょくじ い
めでした。厳しく危険な作業のうえ、食事や衣
ふく そまつ びょうにん にん ぞくしゅつ に
服は粗末で、病人やけが人が続出しました。逃
げだ ひと
げ出そうとする人もいましたが、すぐにつか
まり
ぼうりよく う
暴力を受けました。

ねん がつ じ けん にん
1945年7月、ある事件をきっかけに、11人の
ちゅうごくじん やすの ひろしまし ない けい む しょ うつ
中国人が安野から広島市内の刑務所に移されま
した。そして、8月6日、11人は被爆しますが、
ぜんいん い のこ べつ ちゅうごくじん にん じ けん
全員が生き残りました。別の中国人5人は事件
のとり調べ中に被爆し亡くなりました。彼らの
おお じっさい じ けん かんけい
多くは実際は事件には関係なかったとされます。
けい む しょ い のこ にん にほん はいせん ご ちゅう
刑務所で生き残った11人は、日本の敗戦後、中
ごく かえ
国へ帰ることができました。



最高裁判所で裁判が開かれる日、建設会社の前で抗議活動を行う支援グループ(2007年／東京) 1)



握手する当時の安芸太田町・小坂眞治町長(左端)と訪日団代表(2013年／第6回訪日) 2)



360人の名前が刻まれる「安野中国人受難之碑」。奥に見える安野発電所は、今も電気を送り続けています。

やす の はつでんしょ 安野発電所

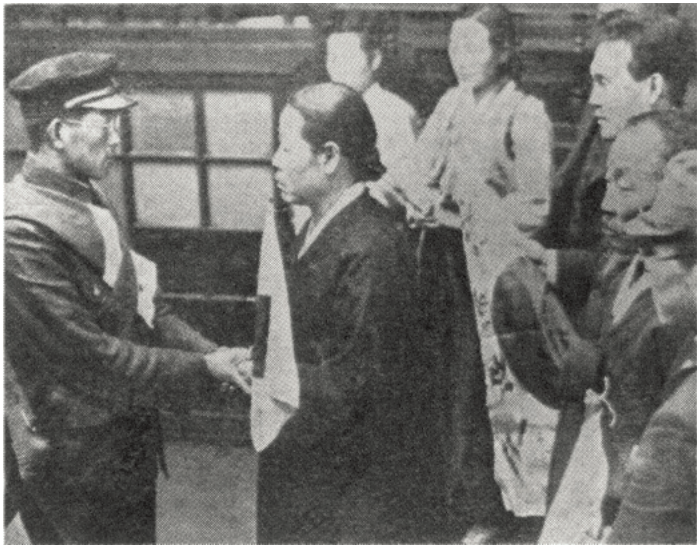
② 日中共同調査、裁判、そして和解

終戦から47年後の1992年5月、安野で働いていた中国人の張廉さんの手記をきっかけに、広島市の市民グループが中心となり、強制連行について日本と中国の共同調査が始まりました。この調査で、広島市の刑務所で被爆した徐立伝さんを始め、安野にいた中国の人々が見つかりました。

安野で働かされた中国の人々と、彼らを支援する日本のグループは、当時彼らを雇っていた建設会社に謝罪するよう話し合いましたが、建設会社は「戦争中に国が決めたことだから会社には責任はない」として裁判になり、結果的に最高裁判所で中国の人々の訴えは退けられました。

しかし、2009年、考えを改めた建設会社が自ら和解を申し出て、中国人とその遺族への謝罪と補償、そして安野に記念碑を建てることになりました。

翌年、中国人被害者と遺族、そして建設会社と一緒に「安野中国人受難之碑」を安野発電所に見える場所に建立しました。碑には強制連行された360人全員の名前が刻まれています。



うし み ちようせんそうとく ふ そうとく ふ けんせつ やく
後ろに見えるのが朝鮮総督府。総督府の建設のため、約500
ねん かんつつ ちようせん おうちよう だいりよう きやうでん けいふく きやう
年間続いた朝鮮王朝を代表する宮殿・景福宮のほとんど
と こわ とく じ にほん ちようせん ぶん か
が取り壊されてしまいました。当時の日本が朝鮮の文化を
けし き け さ し はい しやうちやう い
景色ごと消し去り、支配しようとしていた象徴だと言われて
います。戦後は国会議事堂や博物館として使われましたが、
1996年にと こわ まえ み けいふく きやう せいもん
に取り壊されました。前に見えるのは景福宮の正門、
こう か ちん げんざい けいふく きやう すこ ふくげん きやう おな
光化門。現在、景福宮は少しずつ復元作業が行われています。
写真：CELSUSより

に ほん へいたい せん ち
日本の兵隊として戦地
い ちようせんじん むすこ
へ行く朝鮮人の息子と、
み おく かあ
見送るお母さん。
しゃしん どう あ にっぽう
写真：東亜日報DBより

かんこく ちようせんじん げんばく ぎ せいしや 韓国・朝鮮人の原爆犠牲者

げんばく どう か
①原爆が投下されたとき、
ひろしま おお かんこく ちようせんじん
なぜ広島には多くの韓国・朝鮮人がいたのか
ねん に ほん だいかんていこく に ほん りやう ど いち ぶ
1910年、日本は大韓帝国を日本の領土の一部
かんこく へいごう よ かた ちようせん
としました(韓国併合)。呼び方も「朝鮮」とし、
しゆ と ハンヤン げんざい とくべつ し けい
首都であった漢陽(現在のソウル特別市)も「京
じやう し はい やくしよ ちようせんそうとく ふ
城」にして、支配するための役所「朝鮮総督府」
お
を置きました。

しよくみん ち せいさく ちようせん ひとびと
さまざまな植民地政策により、朝鮮の人々の
せいかつ くる に ほん はたら い
生活は苦しくなり、日本へ働きに行かなければな
らなくなる人が大勢いました。彼らは日本各地の
ひと おおぜい かれ に ほんかく ち
港、トンネル、炭鉱、ダム工事など、厳しく危
みなと たんこう こう じ きび き
険な仕事に就き、安い給料で働かされました。ま
た、第二次世界大戦中には、こうした労働のため
だいに じ せ かいたいせんちゆう ろうどう
強制的に日本へ連れて来られた人々もいました。

きやうせいてき に ほん つ こ ひとびと
軍に関係した工場や施設が多かった広島にも、
ぐん かんけい こうじやう しせつ おお ひろしま
たくさんの朝鮮人が移り住み、働いて生活して
いたのです。
ちようせんじん うつ す はたら せいかつ

ねん がいこくじんとうろく ほうりつ に ほんせい ふ すべ
1947年「外国人登録令」という法律で、日本政府は、全て
ちようせんしゆつしんしや こくせき しゆつしん ち ちようせん
の朝鮮出身者の国籍を、出身地である「朝鮮」としました。
こ につかん き ほんじやうやく き ねん とうろく かんこく
その後、日韓基本条約が決まり、1966年から登録を「韓国
せき き かえ ひと ふ か ひと
籍」に切り替える人が増えましたが、変えなかった人はその
ちようせんせき かれ なか ちようせんはんとう そ こくどういつ
まま「朝鮮籍」です。彼らの中には、朝鮮半島の祖国統一を
ねが ちようせんせき のこ ひと ちようせんせき ちやう
願って「朝鮮籍」に残っている人もいます。よく「朝鮮籍」は朝
せんみんしゆしゆ ぎ じんみんきやう わ こく きたちやうせん せき こ かい
鮮民主主義人民共和国(北朝鮮)の籍と誤解されることがあり
ますが、そうではありません。
につかんきやうつうれき しきやうざい まな に ほん かんこく きんげんだい し につかんきやうつうれき しきやうざい
「日韓共通歴史教材・学び、つなぐる日本と韓国の近現代史」(日韓共通歴史教材
せいさく へん あかししよてん いちふかひつ
制作チーム・編／明石書店)より (一部加筆)。



ひろしまへい わ き ねんこうえん かんこくじんげんぱく ぎ せいしゃ いれい ひ
 広島平和記念公園にある、韓国人原爆犠牲者慰霊碑

かんこく ちょうせんじん げんぱく ぎ せいしゃ 韓国・朝鮮人の原爆犠牲者

② いれい ひ こんりゅう 慰霊碑の建立

ひろしま ちょうせんはんとう キョンサンナム ド ち ほう き ひと おお
 広島へは朝鮮半島の慶尚南道という地方から来た人が多くいました
 げんぱくとう か おお ぎ せい ぎ せいしゃ たし かず いま
 が、原爆投下でその多くが犠牲になりました。犠牲者の確かな数は今で
 もわかっていませんが、おそらく何万人もいただろうと言われています。

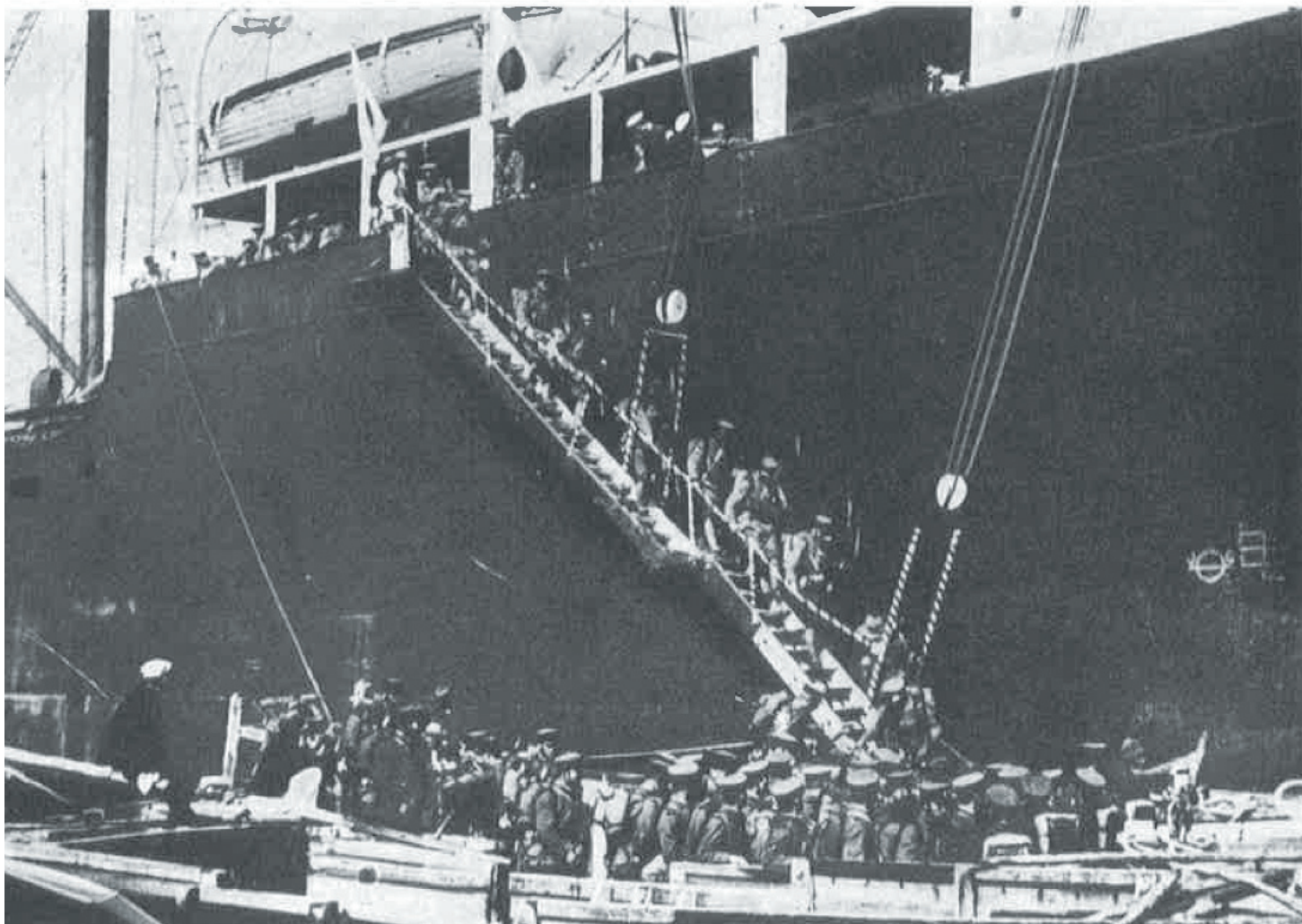
かんこくじんげんぱく ぎ せいしゃ いれい ひ げんぱく ぎ せい かんこく ちょうせんじん
 韓国人原爆犠牲者慰霊碑は、原爆で犠牲になった韓国・朝鮮人のため
 に、1970年本川橋の西詰めに建立されました。被爆当時、日本陸軍中佐
 として広島にいた、最後の朝鮮王の甥、李鍋が被爆して倒れていたところ
 を発見された場所でした。碑の中には亡くなった人の名簿が納められて
 います。

ご いれい ひ ねん がつ へい わ き ねんこうえん なか うつ
 その後、慰霊碑は1999年7月に平和記念公園の中に移されました。

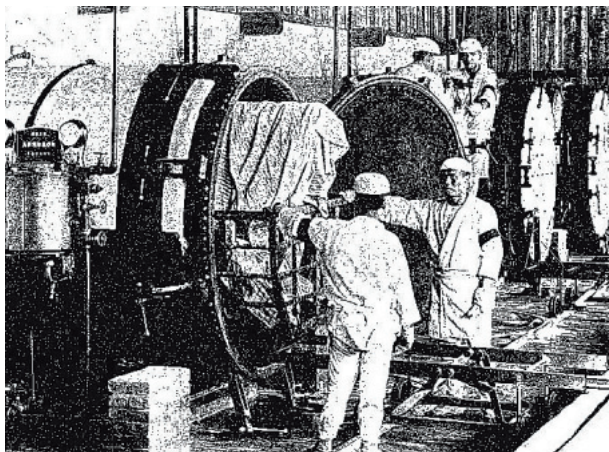


こうみん か きょういく 皇民化教育

に ほんせい ふ ちょうせん たいわん とうなん せんりょう ち いき
 日本政府は、朝鮮や台湾、東南アジアなど占領した地域
 の人々に、日本人と同じになるようにと日本語の教育をし
 たり、神社を拝むことを強制しました。これを皇民化教育
 といいます。第二次世界大戦(1939年ー1945年)の頃、朝
 鮮や台湾では、次第に学校や職場では日本語しか使えない
 ようになりました。また、「創氏改名」で日本人の名前に変
 えるよう強要しました。



戦地から日本に帰り、似島の近くで小舟に乗り換え検疫所に向かう兵隊たち(1936年) ¹⁾



似島第一検疫所の蒸気式消毒機。当時の最新鋭の消毒機械でした。写真：「明治三十七八年戦役検疫誌 附図」(1907年)より



消毒の薬が入った風呂に入る兵隊たち(1936年) ²⁾

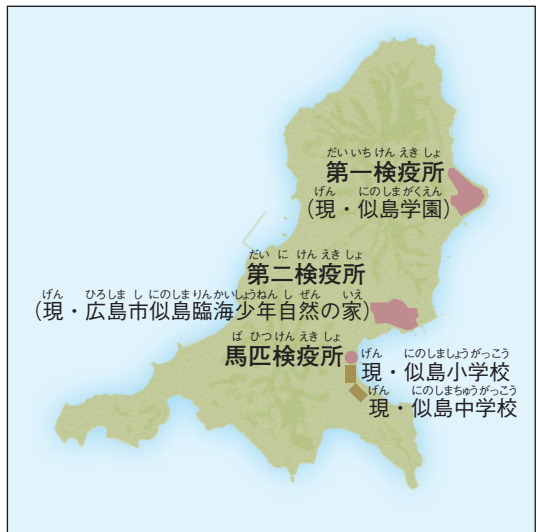
にのしま 似島

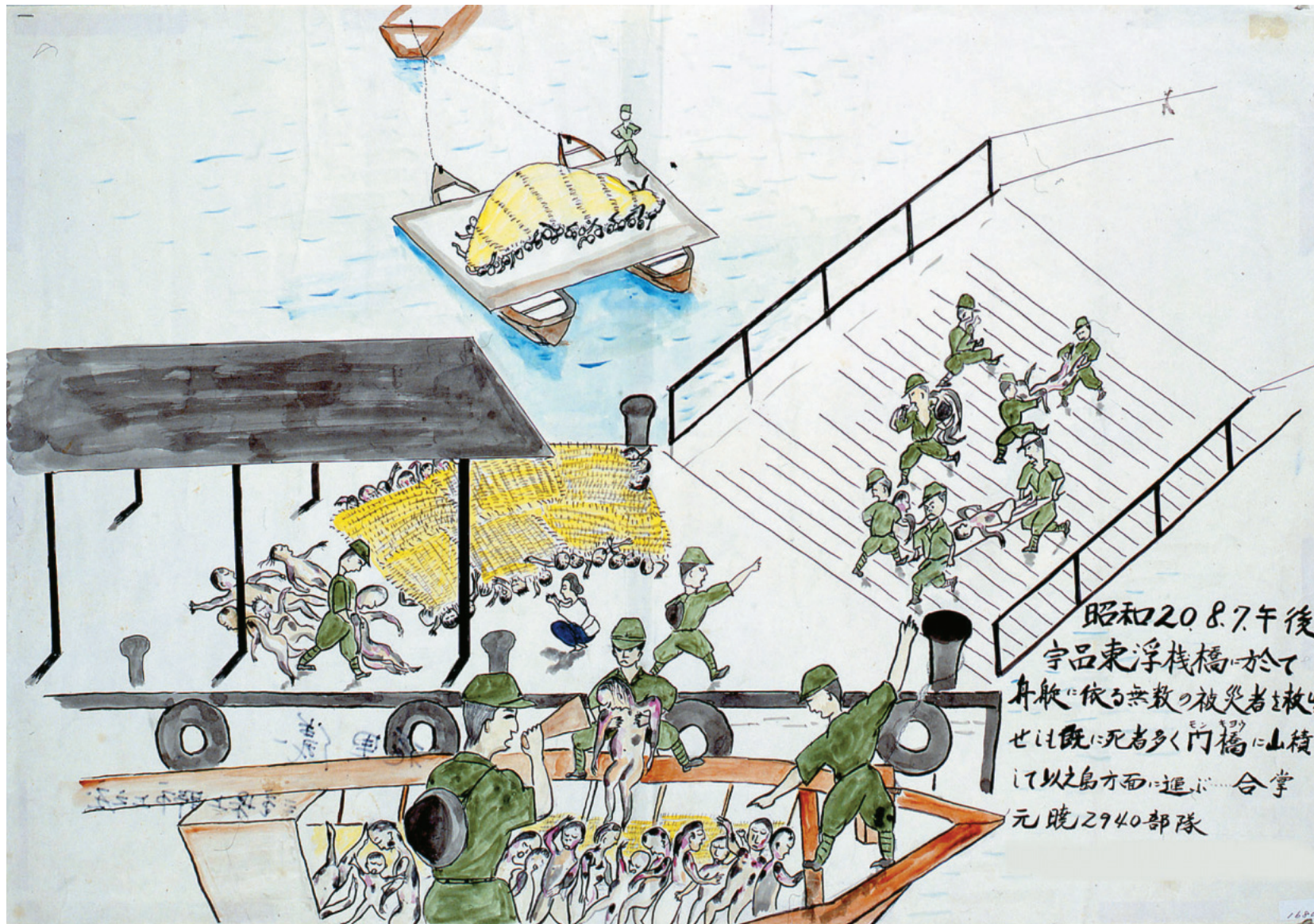
①感染症を検査する「検疫所」

広島港の南約3キロ、広島湾に浮かぶ似島。この島には、1895年、日清戦争から帰って来た兵隊が伝染病などにかかっていないかどうかを検査する「検疫所」が作られました。その頃、朝鮮半島や中国大陆などの戦場ではさまざまな感染症や伝染病が流行しており、日本国内に感染を広げないために、日本に帰って来た兵隊は、最初に検疫所で検査を受けました。

その後、日露戦争や第一次世界大戦の時には、検疫所内に捕虜収容所も作られ、ロシア兵やドイツ兵などの検疫も行われました。

1941年に始められた太平洋戦争が終わりに近づく頃には、日本に帰って来る兵隊が少なくなり、検疫の仕事はだんだん減っていきました。これは、戦地に行った兵隊たちが、いかに生きて帰ることができなかったかを物語ります。





宇品棧橋で負傷者を船に運ぶ兵士たち
(1945年8月7日午後 爆心地から約4.7km 宇品町)

広島市の中心部には死者と負傷者があふれ、火災が続く。焼け出された人々が安全に休める場所はどこにもありませんでした。負傷者でいっぱいになった船は、次から次へと宇品を離れ、似島に向かいました。

(作/花里儀一さん 所蔵/広島平和記念資料館)



2004年に行われた似島での遺骨発掘調査。1990年の調査の後も「まだきつと遺骨が残されているに違いない」と、当時のことを覚えていた似島の人々の熱意が実り、この時の発掘で新たに85体の遺骨と65の遺品が見つかりました。写真提供：広島市似島臨海少年自然の家

似島

②被爆した人々の臨時救護所となる

1945年、原爆投下の時、似島検疫所は被爆者の臨時救護所として使われました。8月6日の午前中から昼も夜も広島市内から多くの被爆者が船で運び込まれ、たくさんあった薬もすぐに底をつくほどでした。8月25日に閉鎖されるまでに、約1万人の患者がこの救護所に運ばれました。

運ばれる途中に亡くなる人も多く、始めは火葬されていましたが、それも追いつかなくなり、防空壕などへそのまま埋められる遺体も多かったといします。

広島には原爆で家族を失い、住む家もなくなった「原爆孤児」と呼ばれる子どもたちが大勢いました。1946年、第一検疫所があった場所に「似島学園」が建てられ、そのような子どもたちのために勉強や生活の支援が行われました。

1971年、似島中学校の実習農地から、被爆して亡くなり、そのまま埋められた人々と見られる遺骨が発見されました。これをきっかけに広島市が遺骨の発掘調査を行い、2018年までに700柱を超える遺骨や、多くの遺品が見つかりました。その後も、一人でも多くの遺骨を見つけようと、個人で発掘を続けている人もいます。

にほん しんりやく
日本の侵略
1894-1945



1894-1895
日清戦争 遼東半島、台湾を占領

1904-1905
日露戦争 南樺太、長春-旅順の鉄道敷設権などを獲得

1910
大韓帝国を併合（韓国併合）

1914-1918
第一次世界大戦 ドイツから山東省、赤道以北の南洋諸島を獲得

1918／シベリア出兵 1927／山東出兵

1931
満州事変 中国領の満州を占領 1932／満州国建国

1937
日中戦争 中国北東部へ侵攻

1940
フランス領インドシナ（ベトナム北部）占領

1941
ハワイ真珠湾を攻撃 アメリカとの戦争勃発

イギリス領マラヤへ侵攻

フィリピンへ侵攻

タイへ進駐

ベトナム南部占領

香港を占領

1942

フィリピン占領

イギリス領マラヤを占領

シンガポール占領

インドネシアへ侵攻、ジャワ島、ボルネオ島占領

ソロモン諸島、ニューギニア占領

ビルマ（現・ミャンマー）占領

アッツ島、キスカ島占領

ハワイ真珠湾攻撃
1941年12月8日

広島三大支廠 軍都を支えた工場

広島には、軍隊のための施設が数多く建設されました。なかでも被服支廠、糧秣支廠、兵器支廠は、代表的な3つの大きな工場でした。

被服支廠と兵器支廠は、広島駅と宇品港とを結ぶ鉄道・宇品線に沿って、糧秣支廠は船が横付けできる海岸のそばに建てられました。いずれも素早く効率的に戦場へ物資を送り届けるためです。

1945年8月6日の被爆時には、それぞれの工場で、学徒動員で働いていた中学生など、多くの人が命を落としました。また、けがをした人々のために、工場は臨時の救護所になりましたが、やはり多くの人が亡くなりました。

これら3つの施設は、さまざまなかたちで、今でも広島市内に残されています。



広島陸軍被服支廠

広島市南区出汐



兵隊の服や靴などを製造、また調達・保管

していた工場です。今残っている4棟は1913年に建てられたもので、市内最大級の被爆建物です。原爆の爆風で大きく歪んだ窓の鉄の扉が、現在もそのまま残っています。

被爆して避難してきた人々の救護所となりましたが、多くの人がここで息を引き取りました。

建てられて100年以上が経ち、このままにしておく地震などで崩れるおそれもあり、これからどのように残していくか、話し合いが行われています。

宇品陸軍糧秣支廠

広島市南区宇品／現・広島市郷土資料館



撮影協力／広島市郷土資料館

広島が軍事都市へと変貌していく中で、

1911年に建てられました。「糧」は兵士の食料、「秣」は軍隊の馬のえさの意味です。これらを製造、また調達・保管し、戦場の軍隊に送るのが糧秣支廠の役割でした。現在、広島市郷土資料館として使われている建物は、かつての牛肉缶詰工場のほんの一部分です。



宇品線宇品駅には糧秣支廠の倉庫がありました。壁の一部がモニュメントとして残されています。

広島陸軍兵器支廠

広島市南区霞／現・広島大学医学部医学資料館



撮影協力／広島大学医学部医学資料館

陸軍の武器や弾薬を集め、補給を行っていた施設で、1914年から建設が始まりました。

「兵器補給廠」となっていた被爆当時は、比治山の陰に建っていたものの、爆風で半壊かそれに近い被害を受けました。このため勤労動員されていた中学生など、多数が被爆・死傷しました。

戦後は県庁や広島大学の施設として使われていましたが、1999年にすべての建物が解体されました。現在は、最後まで残された11号館のレンガの一部が使われ、広島大学医学部の医学資料館として復元されています。